

| Minami Kyushu University Syllabus | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---------|-----|---------|------|--------|--------|----------------|---|
| シラバス年度 | 2024年度 | 開講キャンパス | | 都城キャンパス | 開設学科 | | 環境園芸学科 | | |
| 科目名称 | 技術者倫理 | | | | | 授業形態 | 講義 | | |
| 科目コード | 710006 | 単位数 | 2単位 | 配当学年 | 3 | 実務経験教員 | | アクティブ ラーニング | ○ |
| 担当教員名 | 岡島 直方 | | | | | | | ICT活 用 | |
| 授業概要 | <p>本授業は、技術者として守るべき倫理（道徳やモラル）について学び、新しい科学・技術ばかりでなく、種々の背景をもつ人々の考え方を理解し、高度な職業人を育成することを目的とする。本学の学生は、在学中、または卒業後に新しいことの開発や普及に関わる仕事に就く可能性も高いので、その際に、判断基準となる倫理的な考え方に触れておく事で、実際の事態を様々な視点から見て、行動できるようになることが求められる。授業ではそのような時に参照されるべき内容を取り扱う。</p> <p>途中で園芸分野における倫理的な問題についての事例についても検討する予定である。</p> <p>授業での進み具合は、予定から変わることがある。</p> | | | | | | | | |
| 関連する科目 | 事前に「環境科学」、「生命科学」、「植物資源科学」を受講していることが望ましい。 | | | | | | | | |
| 授業の進め方と方法 | 基本的には講義形式で資料はその都度配布しながら進める。予め調べてもらった内容をもとに発表してもらうことがある。進み具合は年度によって変わる場合がある。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第1回】 | 1. 技術者倫理とは この科目がどのようにあらわれたか、背景について学ぶ。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第2回】 | 2. 伝統的な倫理規程 ゴールデンルールを中心とした宗教的な規程について学ぶ。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第3回】 | 3. これまでの復習、技術者団体の倫理規程 規程という形での問題意識の整理の仕方を学ぶ。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第4回】 | 4. モラルへのとびら 技術者団体の倫理規程補足の補足と事例研究：電力会社について学ぶ。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第5回】 | 5. 技術者と倫理 事例研究：電力会社のほか牛乳メーカー食中毒の事例について学ぶ。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第6回】 | 6. 技術者と倫理 事例研究：青色発光ダイオードについて学ぶ。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第7回】 | 7. 技術者と倫理 事例研究：青色発光ダイオード、STAP細胞について学ぶ。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第8回】 | 8. 職場での倫理問題の想定 ソーラーブラインド、というフィクション動画から学ぶ。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第9回】 | 9. 組織のなかの個人の役割 事例研究：スペースシャトル、チャレンジャー号の事件から学ぶ。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第10回】 | 10. 組織のなかの個人の役割 チャレンジャー号事件つづきと行為理論・規則理論などについて学ぶ。 | | | | | | | | |
| 授業計画【第11回】 | 11. 組織のなかの個人の役割、組織上の人間関係 コロンビア号事件、組織の文化、個人と法人、組織とコミュニティ、積極的倫理などについて学ぶ。 | | | | | | | | |

| | |
|---------------------|--|
| 授業計画 【第12回】 | 12. 組織上の人間関係 復習、利益相反について学ぶ。 |
| 授業計画 【第13回】 | 13. 倫理実行の方法 倫理的問題について考える際のツールについて学ぶ。 もしくは発表 |
| 授業計画 【第14回】 | 14. 技術者のアイデンティティ 技術者の位置づけと事例研究：JCO事故について学ぶ。 もしくは発表 |
| 授業計画 【第15回】 | 15. 技術者の資格 技術者の資格がどのように現れてきたか、3つの国の資格の発生について学ぶ。 もしくは発表 |
| 授業の到達目標 | 高度な職業人として活動し実務を行っていく上で知っておく方がよい倫理に関する考え方を理解する。倫理を学ぶ必要性と、自分のこととして把握することができるようになることが目標である。事例研究の時に、自分だったらどのように考えて行動するかを想像できるようにする。 【社会的責任・倫理観】 |
| 学位授与の方針 (DP)との関連 | 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4) |
| 授業時間外学習【予習】 | 配布された資料の内容を把握すること。(約30分) |
| 授業時間外学習【復習】 | 配布された資料の振り返りをする。(約30分) |
| 課題に対する フィードバック | レポートの内容を紹介する。 |
| 評価方法・基準 | レポート(70点) テスト(30点) |
| テキスト | 資料はその都度配布する。 しかし、授業でよく使う内容が入っている書籍を入手したい場合は、 杉本泰治・高城重厚(2016)：技術者の倫理入門、丸善出版、(1800円+税)、 を持っておくとよい。 |
| 参考書 | 礼野順(2005)：技術者倫理、放送大学出版、その他、授業中に提示する。 |
| 備考 | |